

## 8. 情報革命

ソフトバンクは日本の企業の名前であるが、銀行というわけではない。ソフトバンクは、携帯電話、金融、インターネット事業などを傘下に置く持ち株会社で、プロ野球チームの福岡ソフトバンクホークスもこの会社のグループに属している。グループ会社は960社を数え、現在でもソフトバンクグループは成長を続けている。ソフトバンクの創業者でもあり現在も社長を務めているのが、天才起業家と呼ばれている孫正義である。

孫正義は九州で在日韓国人の三世として生まれ、幼少時には韓国籍であることを隠して生活することにコンプレックスを感じていたという。高校1年の夏に英語研修のためにカリフォルニアに行き、その時、アメリカでは人種や国籍など関係なく実力があればアメリカ人にせよ外国人にせよ誰にでも成功するチャンス\*があるということを知った。その後、大学生の時に周りの猛反対を押し切り、アメリカに渡り、事業家としての基礎を築き日本に戻った。

約300年前から始まった産業革命であるが、現在でも私達はより高度な機械を作り続けている。しかしながら、孫は最近の情報革命というのは機械の革命よりもはるかに大きな革命であり、機械の革命が300年間続いていることからして、情報革命は今復300年以上続くだろうと考えている。そして、第一線でこの革命をリードしていくグループを作るのが創業者としての自分の役割だと発言している。ソフトバンクの理念は、「情報革命で人々を幸せに」である。そして、孫はこの理念を実現するためには、まるでタイムマシンで未来の世界に行って見て来たかのように、未来の人々の生活、社会を語れるビジョンを持つべきだと言う。2010年、グループの今後の方向性を決めるにあたって、新30年ビジョンを定めてソフトバンクは世間に公表した。この中で機械が人間の筋肉の代わりを果たしたように、300年後の世界では、人間の脳を越える人工知能(コンピュータ)が開発され、感情を持った脳型コンピュータが一般的になるという予測を立てている。そして、ソフトバンクは超知性を持ったコンピュータが人間を幸せにするために共存する社会の実現を目指すとしている。

孫が掲げる理想やビジョンが大きすぎるあまり、ほら吹きだと言われることもあるが、ソフトバンクの予測が正しいか正しくないかは300年後の世界の人にしか分からない。

単語リスト：

ソフトバンク SoftBank	理念（りねん）Triết lý
携帯電話（けいたいでんわ）Điện thoại di động	筋肉（きんにく）Cơ bắp
傘下（さんか）Trực thuộc, dưới sự bảo hộ	脳（のう）Não, óc
基礎（きそ）Cơ bản, căn bản	孫（そん）Con cháu
革命（かくめい）Cách mạng	理想（りそう）Lý tưởng
創業者（そうぎょうしゃ）Người sáng lập	